

「報告」

熊本地学会平成18年度総会及び講演会

11月26日(日)に、熊本大学教育学部318教室で開催されました。講演は8件、多くの会員が参加され、盛会でした。

【総会】

○会員数は、計169名です。(19.4.1現在)
お近くに地学関係者が居られましたら、お声をおかけください。

○新役員には、次の方々が選出されました。

会 長 渡辺 一徳
副会長 堀川 治城
幹 事 田中 均・村上 浩二
鶴田 孝三・湊 啓輔
田口 清行・馬場 正弘
村本雄一郎・池上 直樹
西村 英一

会 計 森下 吉郎

○平成18年度の会計を報告します。

収入の部

・会費	239,000円
・平成17年度からの繰越金	183,152円
収入合計	422,152円

支出の部

・会誌印刷代	206,850円
・切手代	72,290円
・その他(封筒, シール, 紙)	9,895円
支出合計	289,035円
差引き残高(次年度へ)	133,117円

【講演会】

- (1)松本唯一先生の論文『九州の四大カルデラ火山』を読む 藤本雅太郎
- (2)北海道幾春別地区白亜系三笠層より産出した *Inoc. beringensis* Pergament について 野田 雅之
- (3)豊後国丹生郷に古代水銀朱を追う 野田 雅之
- (4)集団宿泊的行事における野外観察の試み(その2) - 球磨村檜倒の瀬の川原(メガロドン石灰岩)の観察 - 村本雄一郎

(5)人吉盆地の地質教材開発(その1)

林 智洋

(6)阿蘇火山中岳1988-1995年活動期における噴火式の変化

池辺 伸一郎・渡辺 一徳・宮縁 育夫

(7)大噴火から15年が経過したピナツボ火山を訪ねて 宮縁 育夫

(8)九州の脊梁山地(熊本県内)の山の紹介

田村 実

【懇親会】

恒例の懇親会は、15時30分より学外(熊本教育学部隣)で開かれました。会には、35名の参加があり、親交を深めました。

幹事会

平成18年度の幹事会が、2月17日(土)に熊本大学教育学部地学教室で開かれ、次年度の計画が次のように決まりました。

○ 会誌の発行予定

144(4月) 145(7月) 146(11月)

○ 巡検会・講習会及び総会

第1回(巡検):6月3日(日)

寛政大津波跡巡りⅡ(熊本平野南西部～宇土半島北岸ほか)

第2回(巡検):8月10日(金)・11日(土)

天草西岸および牛深地区の地質

第3回(講習会):10月13日午後(土)講演

・14(日)巡検

「総合的な学習の時間」指導者講習会-熊本地震と活断層-

総会・・・11月17日(土)

発 行 所	
熊本地学会誌	No.144
熊本市黒髪2丁目	熊本大学教育学部
地学研究室内	熊本市地学会
TEL096-344-2111	振替 01960-2-5359